

私たちは、神が私たちに抱いておられる愛を知り、信じています。神は愛です。愛の内にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。 ヨハネの手紙 I 04章 16節

今月は「神は愛です」ということを主題として学びます。神様はどんな方なのだろう。キリスト教のもっとも大切な教えですね。愛という言葉は訳すのに随分と苦労したようです。ギリシャ語では愛に近い言葉がいくつかあります。エロス、フィリア、ストルゲー、アガペー。エロスは性愛、フィリアは友情、ストルゲーは家族の愛という訳しかたをします。明治期に聖書を翻訳した宣教師はお大切と訳しました。神は私たちが大切に思ってください。愛するよりは本来の意味に近いかも知れません。アガペーという言葉について考えて見ましょう。良く無償の愛だと言う事が言われます。アガペーは無条件なのだ。確かにエロスは愛するに値するものしか愛さない！フィリアは親しい友であることが条件になります。ストルゲーは家族という枠組の中での愛です。しかしアガペーは一切の条件がありません。関係性やその人の能力や資質、業績も無関係です。神は愛ですと言う時、神は私たちが無条件に愛する方だと

言うことです。こんなに神様にしたからご褒美として神様から愛されるという事ではありません。神が語っているとすれば「四の五の言うな。私はお前のことが大切で仕方がない。だから何もなくても、何をしなくても大切に扱いたいのだ。」と言うことです。何て凄いいことでしょうか。一般的には私たちは何かの対価として愛される。恵みが与えられると考えます。しかし神の思いはそうではないのです。神がこの世界を創造した時、創造された私たちを見て良いと言われます。素晴らしいと言うのです。私たちは神から良いと言われている存在です。こんなに神の事を無視しています。神など知りません。教会も行っていません。人々を助けたり、支えたりしたこともありません。いつも自分勝手な事ばかり考えています。救われる可能性が微塵もない存在です。しかし神はそんな私たちが良い、大切に扱いた



*And was moved to pity at the sight.
He approached him and dressed his wounds*

い。愛おしくて愛おしくて仕方がないと言っておられるのです。そのことをしっかりと知ってもらいたいと願っています。だからすべての人が笑顔で、喜びに満ちた毎日を送ってもらいたいと願っています。踏みつけにされて、苦しくて仕方がないという人を真っ先に救い出したいと願っています。神は遠くの方で人間の生活を見ながら駄目だとか、良くやったとかいっておられる方ではありません。私たちの世界にいつも関わりたいと願っています。そこで神はこの世界に降って来ました。イエスという人間の形を通して人々と関わろうとしていると考えます。キリスト教はこのイエスこそが神が私たちを救ってくださることのしるしだと信じています。イエスは神の思いをこの世界に伝えました。彼は私たちに言います。敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。神が創造された者として全ての人を見ていきなさい。そして愛しなさい。アガペーしなさい。私たちの日々行なうことの基本となる心は何でしょうか。神が私を創造された。隣にいる全ての方は神が大切に思っている仲間だ。神が創造した者を大切に思い、愛する事が大切な事だ。という事をまず考えてから始めなければなりません。自分の大切にされている。隣人も大切にされている。心からこのことを思いながらする事ができたら素晴らしい世界になるでしょう。自分に利益がある人を大切にするのは

普通です。しかし神はそれだけでは駄目だと言われているのです。神は愛ですと言うことは、私たちもその愛を心して実行する事まで含まれます。皆さんはどうでしょうか。言っていることは理解できるけれども実際にするのは難しいですね。そんな思いを持たれたのではないかと思います。しかしそこで諦めてしまったらこの世界は少しも変わりません。みんな自分勝手に自分の事だけを考え、自分の利益だけを求めて、人々をないがしろにする世界が続くのです。しかし子どもたちが成長して生きていく世界がそんな世界で良いのでしょうか。私の子どもは、強くなって人々を踏みつけにしてでも良い生活をするように育てますと言いますか。それとも少しでも変化するように、神の愛を考えてみよう。生活の中で生かしていこうと言いますか。私は子どもたちが素晴らしい世界で成長するようになってもらいたいと願っています。皆さんのご協力をお願いします。

園長、チャプレンと話そう

毎週月曜日 9時半から

子どもの礼拝前まで

教会の礼拝

毎週日曜日 7時30分

10時30分